

廃炉関連の基盤研究を取り扱う『福島リサーチカンファレンス(FRC)』を福島県等で継続的に開催する。当面、CLADS国際セミナーをFRCとして開催する。将来的には、Gordon Research Conferencesのような廃炉研究関連分野における最高ステータスの会議となることを目指す。

(平成28年度の福島リサーチカンファレンス開催実績)

- ① 廃炉に向けた耐放射線性センサー及び関連研究に関するワークショップ
(いわき産業創造会館、平成28年4月19-20日、参加者:約120名、海外13名)
- ② 廃炉のための放射線計測研究カンファレンス
(檜葉町サイクリングターミナル展望の宿「天神」、平成28年8月4-6日、参加者:約60名、海外11名)
- ③ 福島事故廃棄物の安全管理技術に関する国際ワークショップ
(いわき産業創造会館、平成28年11月7-9日、参加者:約80名、海外11名)(下図)
- ④ Research Conference on Remote Technology for Decommissioning
(檜葉遠隔技術開発センター、平成28年11月24-25日、参加者:延べ86名)



開催日	開催テーマ	開催場所	特記事項
H29年6月20-22日	廃止措置及び廃棄物管理におけるセメント系複合材料に関する研究カンファレンス	富岡	企画委員会(主査:佐藤北大名誉教授)による開催
H29年7月13-14日 (予定)	事故進展解析と熱力学データベースに係るワークショップ (仮称、コンテンツ調整中)	富岡	アクチノイド会議に合わせて開催
H29年9月4-6日 (予定)	「燃料デブリ」に関する研究カンファレンス (タイトル・コンテンツについて調整中)	富岡を第1候補として調整中	福井大と共同で開催 企画委員会準備中
H29年11月下旬 (予定)	Fukushima Research Conference on “Corrosion Prediction and Mitigation for Key Components of Fukushima Daiichi NPP”	富岡を第1候補として調整中	企画委員会(主査: Prof. FERON(CEA))による開催